

厚生労働省が3年ごとに実施している「労働災害原因要素の分析」（平成21年陸上貨物運送事業他）が発表されました。

1 荷役関係作業による死傷災害の割合は68.7%で、その割合は大きくは変化していません。（表1 作業の

類別分析）

2 人力荷役作業中の墜落・転落が最も多く、全体の20.5%（2,733人／13,338人）を占めています。さらに詳細

な分析では、その半数以上を積卸し作業が占めています（57.1%（1,563人／2,733人））。（表2 作業の種

類・事故の型別分析）→[詳細分析参照](#)

3 ダンプトラック以外のトラックからの墜落・転落が最も多く、全体の18.8%（2,551人／13,338人）を占めていま

す。（表3 事故の型別・起因物別分析）→[詳細分析参照](#)

表1 作業の種類別死傷者数（陸上貨物運送事業）

年	作業の種類	(1)	(2)	(3)	(4)	合計	荷役関係作業の合計 ((1)+(2))	全死傷災害に占める荷役関係作業による死傷災害の割合(%)
		荷役機械運転作業	人力荷役作業	運行作業	その他の作業			
平成21年		660	8,505	1,395	2,778	13,338	9,165	68.7
平成18年		1,155	10,035	1,686	2,880	15,756	11,190	71.0
平成15年		923	9,162	1,846	3,169	15,100	10,085	66.8
平成12年		897	9,999	2,042	2,918	15,856	10,896	68.7
平成9年		993	11,004	2,262	3,306	17,565	11,997	68.3
平成6年		827	8,758	1,832	2,736	14,153	9,585	67.7
平成3年		915	10,359	1,881	3,164	16,319	11,274	69.1

資料出所：安全衛生情報センター「労働災害原因要素の分析」

表2 作業の種類別・事故の型別死傷者数(平成21年 陸上貨物運送事業)

作業の種類別	事故の型別	合計	墜落、転落	転倒	飛来、落下物にあたる(崩壊、倒壊物を含む)	激突、激突され	激突	はさまれ	激しい動作(不自然な動作によるものを含む)	道路交通事故(自動車の場合)	その他
合計		13,338	3,792	1,650	1,338	1,839	1,419	1,677	1,119	504	
		(100)	(28.4)	(12.4)	(10.0)	(13.8)	(10.6)	(12.6)	(8.4)	(3.8)	
		((100))	((100))	((100))	((100))	((100))	((100))	((100))	((100))	((100))	
運行作業		1,395	78	69	6	90	39	27	1,041	45	
		(100)	(5.6)	(4.9)	(0.4)	(6.5)	(2.8)	(1.9)	(74.6)	(3.2)	
		((10.5))	((2.1))	((4.2))	((0.4))	((4.9))	((2.7))	((1.6))	((93.0))	((8.9))	
荷役機械運転作業		660	126	27	75	156	207	30	3	36	
		(100)	(19.1)	(4.1)	(11.4)	(23.6)	(31.4)	(4.5)	(0.5)	(5.5)	
		((4.9))	((3.3))	((1.6))	((5.6))	((8.5))	((14.6))	((1.8))	((0.3))	((7.1))	
人力荷役作業		8,505	2,733	1,047	1,083	1,122	885	1,377	30	228	
		(100)	(32.1)	(12.3)	(12.7)	(13.2)	(10.4)	(16.2)	(0.4)	(2.7)	
		((63.8))	((72.1))	((63.5))	((80.9))	((61.0))	((62.4))	((82.1))	((2.7))	((45.2))	
	2,670	828	495	165	456	279	228	45	174		

関連作業	(100)	(31.0)	(18.5)	(6.2)	(17.1)	(10.4)	(8.5)	(1.7)	(6.5)
	((20.0))	((21.8))	((30.0))	((12.3))	((24.8))	((19.7))	((13.6))	((4.0))	((34.5))
その他	108	27	12	9	15	9	15	0	21
	(100)	(25.0)	(11.1)	(8.3)	(13.9)	(8.3)	(13.9)	(0.0)	(19.4)
	((0.7))	((0.7))	((0.7))	((0.7))	((0.8))	((0.6))	((0.9))	((0.0))	((4.2))

(注)
()数字は事故の型別の割合(%)を、(())数字は作業の種類別の割合(%)を示す。

*を付した項目は、その上位項目中代表的なものである。

資料出所：安全衛生情報センター「労働災害原因要素の分析」

表3 事故の型別・起因物別死傷者数(平成21年 陸上貨物運送事業)

事故の型別	起因物別	合計	物揚げ装置	運搬機		用具	作業箇所	荷	その他	
				ダンプトラック以外のトラック*	フォークリフト*					
合計		13,338	300	6,225	4,374	597	717	2,154	1,083	2,859
		(100)	(2.2)	(46.7)	(32.8)	(4.5)	(5.4)	(16.1)	(0.4)	(21.4)
		((100))	((100))	((100))	((100))	((100))	((100))	((100))	((100))	((100))
墜落、転落		3,792	48	2,817	2,511	69	231	423	114	159
		(100)	(1.3)	(74.3)	(66.2)	(1.8)	(6.1)	(11.2)	(0.3)	(4.2)
		((28.4))	((16))	((45.3))	((57.4))	((11.6))	((32.2))	((19.6))	((10.5))	((5.6))
転倒		1,650	6	342	228	21	84	1,059	48	111
		(100)	(0.4)	(20.7)	(13.8)	(1.3)	(5.1)	(64.2)	(0.2)	(6.7)
		((12.4))	((2))	((5.5))	((5.2))	((3.5))	((11.7))	((49.2))	((4.4))	((3.9))
飛来、落下物にあたる(崩壊、倒壊物を含む)		1,338	57	351	66	39	189	6	417	318
		(100)	(4.3)	(26.2)	(4.9)	(2.9)	(14.1)	(0.4)	(1.6)	(23.8)
		((10))	((19))	((5.6))	((1.5))	((6.5))	((26.4))	((0.3))	((38.5))	((11.1))
激突、激突され		1,839	63	780	348	204	72	561	111	252
		(100)	(3.4)	(42.4)	(18.9)	(11.1)	(3.9)	(30.5)	(0.5)	(13.7)
		((13.8))	((21))	((12.5))	((8))	((34.2))	((10))	((26))	((10.2))	((8.8))
はさまれ		1,419	120	804	348	165	75	3	153	264
		(100)	(8.5)	(56.7)	(24.5)	(11.6)	(5.3)	(0.2)	(0)	(18.6)
		((10.6))	((40))	((12.9))	((8))	((27.6))	((10.5))	((0.1))	((14.1))	((9.2))
激しい動作(不自然な動作によるものを含む)		1,677	3	87	48	3	36	99	198	1,254
		(100)	(0.2)	(5.2)	(2.9)	(0.2)	(2.1)	(5.9)	(0.2)	(74.8)
		((12.6))	((1))	((1.4))	((1.1))	((0.5))	((5))	((4.6))	((18.3))	((43.9))
道路交通事故(自動車の場合)		1,119		879	774	9				240
		(100)		(78.6)	(69.2)	(0.8)				(21.4)
		((8.4))		((14.1))	((17.7))	((1.5))				((8.4))
その他		504	3	165	51	87	30	3	42	261
		(100)	(0.6)	(32.7)	(10.1)	(17.3)	(6.0)	(0.6)	(8.3)	(51.8)
		((3.8))	((1.0))	((2.7))	((1.2))	((14.6))	((4.2))	((0.1))	((3.9))	((9.1))

(注)
()数字は起因物別の割合(%)を、(())数字は事故の型別の割合(%)を示す。

*を付した項目は、その上位項目中代表的なものである。

資料出所：安全衛生情報センター「労働災害原因要素の分析」